

# 区議会だより

発行/江戸川区議会  
江戸川区中央1-4-1  
ダイヤルイン 5662-6736  
<http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

190号の  
主な記事

- 第4回定例会概要、議員提出議案 ..... 1ページ
- 代表質問、一般質問 ..... 2~3ページ
- 区長提出議案、請願・陳情の処理状況 ..... 4ページ

## 平成20年 第4回定例会 補正予算を含む議案14件を可決

### 意見書6件を関係機関に提出

平成20年第4回定例会は11月20日から12月4日までの15日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、特別借換融資制度の新設に伴う信用保証料補助金の追加や一之江第二小学校の校庭拡張用地取得費などを計上した補正予算を含む14件の議案と報告1件が提出されました。

これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員からは、「固定資産税及び都市計画税の減免措置等に関する意見書」を含む6件の議案が提出され、それぞれ可決されました。意見書は関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、2月中旬にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。



↑平成庭園 源心庵

### ◎第4回定例会日程◎

- 11月20日 ..... 議案上程、委員会付託
- 25日 ..... 代表質問
- 26日 ..... 追加議案上程、委員会付託、一般質問
- 27日 ..... 議案審査
- 28日 ..... 請願・陳情等の審査
- 12月4日 ..... 委員会報告及び表決

### ...議員から出された議案で結果が出されたもの - 意見書は各関係機関に送りました - ...

- 固定資産税及び都市計画税の減免措置等に関する意見書(全会一致)  
〔東京都知事 あて〕  
小規模住宅用地の都市計画税を2分の1に軽減、小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税を2割減額、商業地等の固定資産税・都市計画税について負担水準の上限を65%とする措置の21年度以降の継続を東京都に求める。
- 福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める意見書(全会一致)  
〔内閣総理大臣、厚生労働大臣、東京都知事 あて〕  
福祉人材の賃金・労働条件の向上と職員配置基準を改善するよう国及び東京都に求める。
- 長時間労働や日雇派遣など労働法制の改正を求める意見書(全会一致)  
〔内閣総理大臣、厚生労働大臣 あて〕  
長時間労働の抑制、サービス残業の取締強化、日雇派遣の原則禁止など派遣労働者保護等への取組みを国に求める。
- 「食の安全確保」及び「消費者問題」への取り組み強化を求める意見書(全会一致)  
〔内閣総理大臣、農林水産大臣、消費者行政推進担当大臣 あて〕  
偽装表示一掃のためのJAS法改正による罰則強化、食品の衛生管理の普及・促進、食品流通の明確化等の対策を国に求める。
- 医師不足対策、周産期医療充実に関する意見書(全会一致)  
〔衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣 あて〕  
医学部の定数の増員、看護師確保のための施策の充実、診療報酬の抜本的拡充等の実施を国に求める。
- 食料自給力向上に関する意見書(全会一致)  
〔衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣 あて〕  
食料増産、米の消費拡大、戦略作物の策定、自治体の一次産業の振興計画策定の支援等の政策推進を国に求める。
- 江戸川区小中学校等入学祝金の支給に関する条例  
賛成 5(日本共産党)  
反対 38(自由民主党、公明党、民主党、生活者ネット・無所属クラブ、一人の会、プー外江戸川)  
賛成少数で否決

## 区政への質問

11月25日に代表質問、26日に一般質問が行われ、区政運営、子育て支援、熟年者支援、中小企業支援、教育問題などのほか、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは、質問と答弁の要旨を掲載しています。

### 代表質問



#### 夢のスーパー大学院構想、子ども未来館建設を

自由民主党  
やぶさき 一郎

**問** いままで堅調であった区の財政も21年度以降は困難な局面を迎えることが予想される。21年度の住民税、財政調整交付金などの収入見通しと厳しい中でも安全・安心の区民生活を実現するための予算編成方針は。

**答** 景気後退により来年の税収は相当に厳しいことが予想される。今後は事業を厳選しつつ、区民の期待に応える区政を展開していく。

**問** 東部地区新図書館は、地元住民の方々と一緒に夢のある構想を描き、行政の発想だけでなく民間の知恵を活かした独自性ある運営の可能性を持った施設として研究を。現時点での施設内容や運営についての考えは。

**答** 既存の図書館に比べて比較的大型で雰囲気の良い図書館にしていく。また、運営は指定管理者が行っていく。

**問** 篠崎図書館の跡地に建設されている子ども未来館については、子どもたちが将来に夢と希望を託せる施設としての活用を。また、子どもたちはどのような学びができるのか。



#### 子ども未来館

**答** 1階は本格的な児童図書館、2階は学校ではなかなか教えられない天体や発明、郷土史などを深く考え、子どもたちの好奇心を膨らませていきたい。隣接のポニーランドや河川敷も活用し、夢のある施設にしていく。

**問** スーパー連携大学院構想は、企業にとって大学の専門知識を製品開発・改良に活用する機会が増えることや産業界の活性化など多面的な効果が期待できる。積極的な支援を。

**答** 構想は多くの大学、企業などで構成する準備会で22年度末までにまとめると聞いている。イメージとして臨海町の都市地に財界の資金で拠点となる施設整備を行いたいと考えている。用地については区が支援していく。

**問** 中川のスーパー堤防化について、荒川に中川の水を流すことで中川そのものにスーパー堤防機能を持たせることができる。100haの新たな土地が生まれ、災害時には避難場所としても活用できる。課題は多いが考えを。

**答** 低地対策の委員会での一つの案が中川を活用した堤防強化である。可能であれば、埋め立てにより100haの高台を創出するという大きな夢が持てる。検討を待ちたい。



#### 中小企業支援策と文化・芸術・福祉の推進

公明党  
竹内 すすむ

**問** 返済負担軽減や資金繰り改善のため創設された特別借換融資制度の実績と来年度以降への事業継続の考えは。

**答** 11月4～21日の14日間で、申し込み394件、あっせん額は35億円である。来年度以降の継続については、今後の状況を見ていく。

**問** 国の経済対策の中に盛り込まれた定額給付金について、区内経済の活性化に活用を。

**答** 国の補正予算の提出や関連法の改正時期も不透明な状況で、踏み込んで答えられない。

**問** 「江戸しぐさ」など江戸時代のすぐれた生活文化を紹介し、現在の人たちが忘れていている人間の心の復興と普及への取り組みを。

**答** 不易流行と言うように変えてはいけないものもある。守りたい文化の一つである。良いものを守ることを心がけていきたい。

**問** 様々な国際交流を通じ、よい縁があって、区民レベルの交流が始まるなど機が熟してきたら新たな外国の都市との姉妹都市の提携を。

**答** 永続的で自然体の交流を維持していけるかという点も踏まえ、今後とも国際化の視点を持っていきたい。

**問** さらなる文化・芸術の振興について、アーティスト公園の整備やタワーホールなどを利用した映画祭や若い芸術家の育成など文化活動を高める取り組みを。



#### 文化・芸術の振興

**答** 理想の地域社会を築くための営み、努力そのものが文化であり、そこから生まれてくるものが芸術であり文学である。今後とも文化行政を推進していく。

**問** 内部障害者への理解と支援について、外見からはわからない、見えない障害であることからハートプラスマークの普及と促進を。また、公共施設の駐車場への表示を。

**答** 皆さんに分かってもらうことも必要であり、普及やPRもしていかななくてはいけない。できることをしっかりと進めていきたい。

**問** 新中川の健康の道をさらに快適にしておくため、照度や稼働時間に限界があるソーラー灯をLEDに変えるなどさらなる整備を。

**答** LEDは高額であるが、さまざまな開発がされているので、動向を見て検討していく。



#### 墨東病院充実、無保険の子の解消、熟年者手当継続を

日本共産党  
セバタ 勇

**問** 都立墨東病院の周産期医療充実について

①8年連続となる国の社会保障費2200億円削減について考えは。また、医師や看護師など医療スタッフ全体を増やすために社会保障予算の拡充についての要望を。

②都に周産期医療体制を含め、大胆な財政投入で医療分野の抜本的な改善要請を。

③周産期医療や救急医療など採算の合わない行政的医療が困難になる都立墨東病院の地方独立行政法人化ではなく、区民にとって安心できる都立病院としての存続の要請を。

**答** ①区長会会長として周産期医療体制の充実について国に要望した。産科医不足等は、国家的な対策が求められており、さまざまな観点から問題点に迫ることが必要である。

②国、都、自治体が一体となって協力し、周産期医療体制の確保等に努めたい。

③地域住民にとって行き届いた医療のあり方を確保することが重要である。

**問** 妊婦健診について、安心して安全な出産の土台として一刻も早く14回までの無料化を。

**答** 国において具体的な実施方法が定められた際には、区としても同様に実施していく。

**問** 国民健康保険証について、世帯主の納付状況と子どもが必要な医療を受けることは別問題との認識に立ち、資格証明書が発行されている世帯であっても、18歳未満の子どもの保険証については無条件で交付を。

**答** 法律上、資格証明書の発行世帯の子どもの保険証のみを交付することはできないが、世帯の状況に応じた弾力的運用に努めたい。

**問** 第4期介護保険事業計画について

①深刻な経済情勢と高齢者の負担に配慮し、介護保険料の引き下げを。

②地域包括支援センターは、認知症などの困難事例の相談をはじめ、さまざまな相談が寄せられ、重要な役割を果たしている。高齢者人口6,000人に1ヶ所への増設を。

③区民から喜ばれている熟年者激励手当やおむつ支給など独自の生活支援事業の継続を。



#### 介護保険

**答** ①②介護保険事業計画等改定検討委員会の意見を十分に汲み取り、今後の施策の推進に活用したい。

③財政状況を鑑み、適宜適切な判断をしたい。



#### 中小企業対策、障害者の地域での自立について

民主党  
えぞえ 亮一

**問** 中小企業対策について

①緊急経済対策として打ち出した特別借換融資制度に対し、多くの企業から問合せや相談が寄せられているとのことであるが、現在までの利用状況とケースバイケースだとは思いますがこの制度による返済負担の軽減の具体例は。

②この制度は3月31日までの時限的な措置であるが、さらなる景気の悪化が予想されるなか、借換債務額に加え500万円までの運転資金の借り増しができる大変有利な制度であることから、状況に応じて借り増し額の上乗せも含め期間の延長などの検討を。

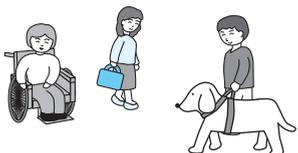
答 ①11月4～21日まで14日間で、申し込み394件、あっせん額は35億円である。また、一例として月々の返済額が約29万円軽減されるなどの効果が表れている。

②緊急的な施策として導入したものであり、今後の状況を見ながら判断していきたい。

問 江戸川区地域自立支援協議会について

①障害者の方々が考える自立とは、一人の人間として、その存在を認められることである。そして、施設や親の庇護のもとで生活するという限られた選択肢だけでなく、ごく当たり前のことが当たり前で、その人が望む場所で、望むサービスを受け、普通の暮らしをしていくことである。施行から3年が経過した障害者自立支援法の見直しや障害福祉計画の策定を迎えた大切な時期に、改めて障害者の自立をどうとらえているか考えを。

②地域自立支援協議会の設置は大変意義があり、今後活発な議論の展開が期待される。この協議会での意見を今後の施策にどう反映していくのか。また、専門部会等の設置や当事者の参画についての考えは。



**障害者の自立**

答 ①障害者が地域の中で豊かな生活を送るためには本人の努力も必要であるが、地域の理解が必要である。地域の協力が得られなければ本当の意味の障害者福祉は確立できない。

②協議会は、障害者に関する問題を社会全体で解決するためネットワークづくりの核となる。多くの人たちが問題を認識し、共有するためにどういう取り組みができるかを検討することがこの協議会の役割である。

**一般質問**



**さらなる行財政改革、道徳・学力の向上、特養ホーム増設を**

自由民主党  
荒井 てるお

問 財政力は一時、好転してきたが、将来的な歳入不安や小中学校の改築などの大きな行政需要もある。将来を見据えた行財政運営を。

答 厳しい時代を迎えることから、引き続き行財政改革を行い、最善を尽くしていく。

問 幼児期からの道徳教育が大切であること

から、幼稚園や保育園で教育的なしつけを。

答 教育とは人づくりであり、その基盤が幼児期の教育である。家庭やPTAと手を携えて取り組んでいく。

問 子どもたちの生活規範や学力向上のため、工夫を凝らし、しっかりとした取り組みを。

答 学習意欲の向上や教師の指導力向上など多面的に取り組み、学力向上を図っている。

問 特別養護老人ホーム入所待機者の解消を。安心して老後を暮らせる江戸川区づくりを。

答 在宅サービスを基本とし、特養の充実も含め、必要な対応をしていく。



**安心の周産期医療の確保、地域ぐるみで認知症支援を**

公明党  
うざわ 悦子

問 安心の周産期医療の確保について

①新しく誕生する大切な命を守るため、地域の病院等、医療関係者との連携体制の推進を。

②職を離れた女性医師、看護師等が再度現場で働ける環境づくり等で医療人材の確保を。

答 ①病院の地域連携を確立するためには、全国的な医療体制を組み替える必要がある。

②処遇に配慮しなければ、医療人材の配置はできない。国の対策に期待している。

問 公共施設に気軽に立ち寄れて授乳やおむつ替えができるコーナー等の拡充を。

答 できるだけ拡充する方向で取り組んでいる。

問 認知症支援のあり方のさらなる普及・促進を。また、地域包括支援センターの増設を。

答 地域の理解者、協力者、実践者を増やしていきたい。支援センターも充実させていく。

問 環七シャトルセブンのPRを推進し南北交通の利便性向上のため、本格運行の実現を。

答 本格運行とは安定した経営で快適な走行環境を実現することである。残された課題を解消し、早期に走行環境の整備を行っていく。

問 休日夜間の窓口開庁や住民票等自動交付機をコミ館等の区民施設へ設置することなど、住民ニーズに応えた業務サービスの充実を。

答 現在ITを駆使して効率化を図っている。区独自のサービス環境を組み立てていく。

問 土日祝日連休に、葛西臨海公園や千葉、都心方面に向かう環七の交通渋滞の解消を。

答 渋滞解消に必要な中央環状線と外郭環状道路の早期整備を都や国に要請している。



**公的保育充実・日本語学級増設・スーパー堤防中止を**

日本共産党  
小俣 のり子

問 保育所の直接契約制度や最低基準の廃止に対し公的保育を守り国に反対の申し入れを。

答 保育事業は自治体に担わせてほしいという考えを国に直接訴えている。

問 北部地区の中学校に日本語学級の増設を。

答 22年4月の設置に向け、準備している。

問 スーパー堤防事業について、住民合意も事業決定もしていない地区の先行買収中止を。

答 基金活用の先行買収は認められている。



**美術館の建設と日本語学級増設、トイレの改善**

民主党  
中里 省三

問 芸術の殿堂となるような美術館の建設を。

答 本区がつくるためには課題が多い。

問 河川敷にも快適なトイレの設置を。

答 全体のバランスを見ながら整備していく。

問 1日も早く北部地区に日本語学級増設を。

答 22年4月の設置に向け、準備している。



**地域ブランドの活用と商標権保護のための取り組み**

生活者ネット・無所属クラブ  
木村 ながと

問 区の統一キャラクター創出と、中国における江戸川関連の商標調査と防衛的登録を。

答 提案に感謝する。十分に研究していく。



**6月設置公共調達システム検討委員会を問う**

プロジェクト江戸川  
上田 令子

問 元区議田辺専門委員の報酬・基準は。

答 35万円。識見保有者として区長が任用。

問 住民力を活かした「事業仕分け」導入を。

答 事業評価法を模索中。良い策を探したい。

問 保育現場での事故。どんな再発防止策が。

答 現場でその都度対応し防止策に努めてる。



**子どもから高齢者まで誰もが笑顔の江戸川区**

自由民主党  
早川 和江

問 生活習慣病予防対策について、特定健診の受診率向上や特定保健指導の充実を。

答 区民が予防を重視することに努めていく。

問 安全な分娩を進めるため、医療機関と連携し、妊娠中や産後のケアに助産師の活用を。

答 人材活用のための環境整備に努めたい。

問 年末年始の小児等休日診療体制の確立を。

答 医師会の協力体制のもと進めていく。

問 高齢化が進む中、介護現場は深刻な人手不足である。積極的な人材確保と環境整備を。

答 介護と医療は、区民生活を支える双壁であり、区としても適切に取り組んでいきたい。

問 将来の介護を担う人材を育てるため、低年齢層に福祉教育、体験教育の取り組みを。

答 教育委員会の課題でもあり、検討したい。

問 小岩大橋坂路の歩道の拡幅を。老朽化が進む松本橋など新中川橋梁の架け替えを。

答 早期に整備していきたい。

.....区長から出された議案.....

●予算

- 平成20年度江戸川区一般会計補正予算(第3号)  
特別借換融資制度の新設に伴う信用保証料補助金の追加や、一之江第二小学校の校庭拡張用地取得費など12億1282万4千円を追加し、総額を1997億2414万9千円とする。
- 平成20年度江戸川区一般会計補正予算(第4号)  
6億3700万円を減額し、総額を1990億8714万9千円とする。
- 平成20年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)  
4700万円を減額し、総額を696億4428万5千円とする。
- 平成20年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第2号)  
1000万円を追加し、総額を263億3315万2千円とする。
- 平成20年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  
1000万円を追加し、総額を77億8028万4千円とする。

●条例(新規)

- 江戸川区水辺のスポーツガーデン条例  
スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与するため、東篠崎2丁目4番に江戸川区水辺のスポーツガーデンを設置する。指定管理者による管理運営を行うため、施設の利用料金について定める。

●条例(一部改正)

- 江戸川区立障害者施設条例  
障害者自立支援法に基づく事業を行う障害者施設として位置付けるほか、福祉作業所分室を新たに設置する。
- 江戸川区国民健康保険条例  
出産育児一時金について、産科医療補償制度の創設に伴い、一分娩当たり3万円の費用負担が生じるため、支給額を35万円から38万円に引き上げる。また、地方税法等の一部を改正する法律の施行により、引用する条文に移動があったため規定を整備する。
- 江戸川区保育所条例 ※  
社会福祉法人江戸川による運営に移行する葛西第二保育園、東小岩保育園、春江保育園の3園を廃止する。施設の老朽化による建替えに伴い、東篠崎第二保育園を廃園し、東篠崎保育園に統合する。待機児解消のため、小松川第三保育園を新設する。
- 江戸川区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例  
適用区域に東京都市計画一之江三丁目南地区地区整備計画区域を加える。
- 江戸川区立図書館条例 ※  
22年度から一部図書館に指定管理者制度を導入することに伴い、西葛西図書館の付帯設備(西葛西ギャラリー)の管理を指定管理者が行えるよう規定を整備する。
- 江戸川区長、副区長及び教育委員会教育長の給料の特例に関する条例  
区長は給与月額10%減額、副区長及び教育長は給与月額5%減額する期間を平成22年12月31日まで2年間延長する。
- 職員の給与に関する条例
- 幼稚園教育職員の給与に関する条例  
特別区人事委員会の勧告どおり、地域手当の支給割合を1.5%引き上げる(14.5%→16%)。地域手当の引き上げに伴い、給与月額を同程度引き下げる。

●報告

- 放棄した私債権の報告  
債権件数91件、総額1億3802万8347円の債権を放棄した。
- ※印は賛否の分かれた議案  
賛成38(自由民主党、公明党、民主党、生活者ネット・無所属クラブ、一人の会、ポイ!外江戸川)  
反対 5(日本共産党)  
※印以外の議案は全会一致で可決

.....平成21年第1回定例会開催予定.....

- 2月20日(金)..... 本会議(議案上程、委員会付託)
- 24日(火)..... 本会議(一般質問)
- 25日(水)..... 本会議(一般質問)
- 27日
- 3月2・3・5・6日 } 予算特別委員会
- 9・10・12日
- 13日(金)..... 常任委員会(議案審査)
- 16日(月)..... 各常任委員会(請願・陳情等の審査)
- 25日(水)..... 本会議(委員会報告及び表決)

.....みなさんから出された請願・陳情.....

◎今回の定例会で新たに委員会に付託されたもの 付託委員会名

- 57号 投票率向上のための啓発係の設置に関する陳情 総務委員会
- 58号 「協同労働の協同組合法の速やかな制定を求める意見書」の提出を求める陳情 生活振興環境委員会
- 59号 改正国籍法の施行に伴う江戸川区での偽装防止策の充実に関する陳情 生活振興環境委員会

◎今回の定例会で結果が出されたもの 結果

- 31号 福祉人材の確保に向けた施策の充実を求める陳情 採択(全会一致)
- 32号 江戸川区立保育園民営化計画に対する陳情 不採択(38:5)
- 34号 発達障害児童の支援に関する陳情 採択(全会一致)
- 52号 小規模住宅用地の都市計画税の軽減措置の継続についての意見書の提出を求める陳情 採択(全会一致)
- 53号 小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減免措置の継続についての意見書の提出を求める陳情 採択(全会一致)
- 54号 商業地等における固定資産税・都市計画税の負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置の継続についての意見書の提出を求める陳情 採択(全会一致)

.....請願・陳情とは.....

請願・陳情とは、区民の皆さんの意見や要望を行政に反映させるため、区議会に対して文書で施策の実現などを要望する制度です。議員の紹介のあるものを「請願」、紹介のないものを「陳情」と呼んでいますが、区議会での取り扱いは同じです。

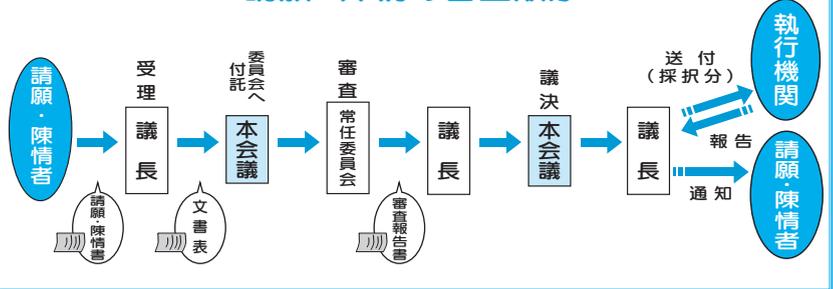
採択された請願・陳情は、区長などの執行機関に送付し、その趣旨は、十分に尊重されることとなります。

また、国や東京都が措置するような内容のものは、意見書や要望書として各関係機関に提出します。

なお、請願・陳情の代表者の方には、審査の結果をお知らせしています。



請願・陳情の審査順序



あとうがき

区議会だより第190号をお届けいたします。区議会や区政について理解を深めていただくためには、傍聴が最も身近な方法です。どなたでもお気軽にお越しください。

- 区議会だより編集委員会(◎委員長 ○副委員長)
- ◎ 島村 和成 須田 哲二
- 北川 ひろし 笹本 ひさし